



館山市マスコットキャラクター
© studio crocodile・館山市

たてやま 農業委員会だより



「私たちが農業委員です！よろしくお願いします！」

大詰めを向かえた「TPP交渉」や、農地の新しい貸し借りの仕組みとなる「農地中間管理事業」のスタート、また、6月24日に閣議決定された、農業委員会の改革案や農協中央会制度の見直し案など、農業を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。このような重要な時期に会長の大役をお任せつかり、改めて責任の重さを痛感しています。

地域と農業は密接に関わっており、農業の盛衰は地域の盛衰であると私は考えます。農業委員一同、館山市の農業発展のために尽力していきますので、よろしくお願いいたします。



農業委員会会長
協田 安保

就任にあたって

任期満了に伴う改選後、初の農業委員会総会が7月23日に開催されました。今回から選挙委員の定数が2人減り、委員18人の体制になりました。新会長には協田安保氏、会長職務代理者には鈴木紘一氏が選任されました。

4面に農業委員の一覧を掲載しています。

農地利用基礎調査事業の結果報告

農業委員会では、昨年度、農地利用基礎調査事業として、農地の現況調査と各農家の将来の農業経営の意向に関するアンケート調査を実施しましたので、その主な結果を報告します。

調査の全結果については、館山市農業委員会のホームページで公開しています。

① 農地の現況調査

耕作放棄地の発生防止及び解消対策の基礎となる農地の利用状況を把握するため、館山市内の農地約 45,000 筆を昨年 9 月から本年 2 月にかけて、農業委員と事務局職員で現地調査しました。調査は、農地一筆ごとに実際に目で見た現況を次の 4 つに分類する方法で行いました。

- 耕作（適正管理）・・・・・・・・耕作、もしくは草刈りなどの適正な管理をしている状態
- 耕作放棄地（程度の良い）・・・・雑草が生えている状態（小型機械などにより耕作可能）
- 耕作放棄地（程度の悪い）・・・・多少の樹木が生えている状態（大型機械などにより耕作可能）
- 非農地・・・・・・・・山林化など農地としての機能を失い、再生が困難な状態

地区別の農地の状況

単位 ha

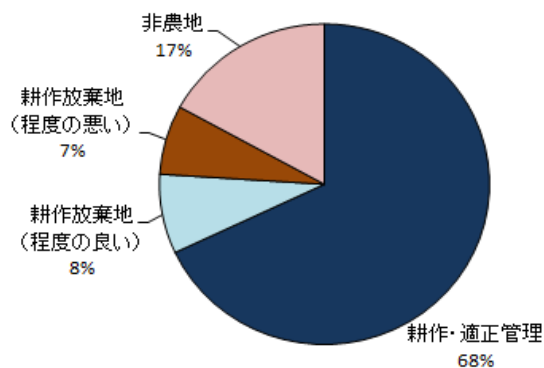
地 区	耕作 （適正管理）	耕作放棄地 （程度の良い）	耕作放棄地 （程度の悪い）	非農地	面積合計
館 山	95 (62%)	17 (11%)	11 (7%)	29 (19%)	152
北 条	101 (82%)	13 (11%)	3 (2%)	7 (5%)	124
那 古	222 (77%)	36 (13%)	6 (2%)	23 (8%)	287
船 形	31 (76%)	7 (16%)	0.7 (2%)	3 (6%)	41
西 岬	95 (36%)	21 (8%)	55 (21%)	96 (36%)	267
神 戸	273 (66%)	31 (8%)	37 (9%)	74 (18%)	415
富 崎	3 (38%)	0.3 (4%)	0.2 (3%)	4 (55%)	7
豊 房	244 (63%)	18 (5%)	24 (6%)	104 (27%)	390
館 野	276 (86%)	14 (4%)	6 (2%)	27 (8%)	323
九 重	262 (77%)	24 (7%)	16 (5%)	39 (11%)	340
合 計	1,601 (68%)	182 (8%)	158 (7%)	405 (17%)	2,345

館山市全体の農地（2,345ha）のうち、約 3 分の 2 にあたる 1,601ha が耕作（適正管理）されており、非農地が 17%の 405ha、耕作放棄地（程度の良い・悪い）が合わせて 15%の 340ha でした。

山を抱えている西岬・神戸・豊房地区では、山間の谷に農地があり、現在は、山林化していて、非農地化が進んでいた。また、小規模な農地、日があまり当たらない農地、水はけの悪い農地など条件が悪い農地から順に、耕作放棄地になっていました。

※耕作放棄地は、病害虫の発生など、近隣の耕作農地に悪影響を及ぼすことがありますので、適正な管理をお願いします。農地の維持管理が困難で貸付・譲渡を希望される場合は、地元農業委員または農業委員会事務局までご相談ください。

館山市全体の農地の割合

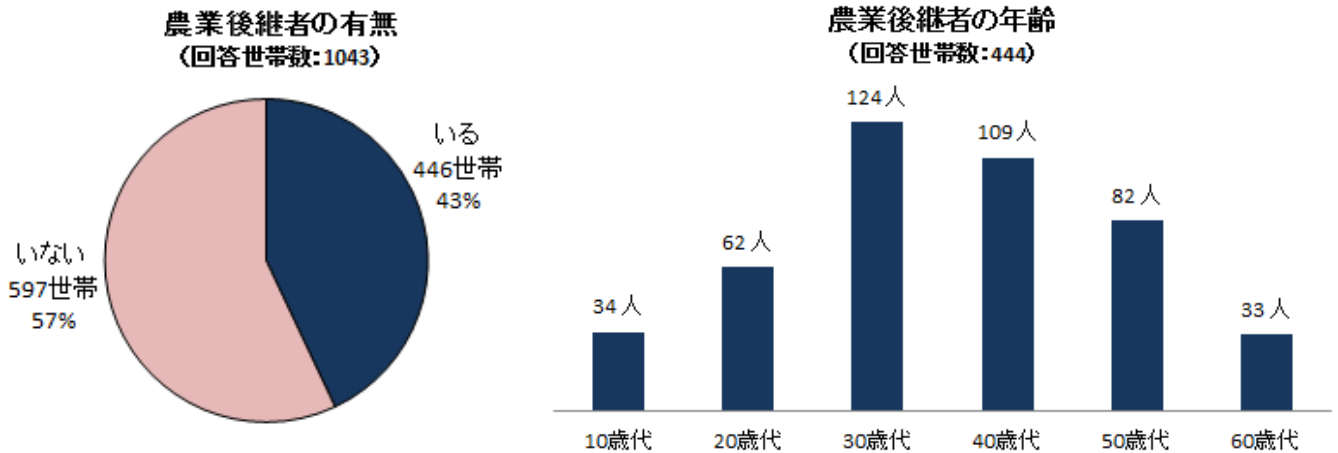


② 農業経営の意向に関するアンケート調査

各農家の皆さんを対象に、5年後、10年後といった近い将来の農業経営について、「農業経営の意向に関するアンケート調査」を昨年12月から本年1月にかけて実施しました。

【回収結果】

配付数 2814 回収数 1897 回収率 67.41%



① 耕作している農地面積 (回答世帯数:1387)

10a未満	10a~50a未満	50a~1ha未満	1ha~5ha未満	5ha以上
182世帯 (13%)	690世帯 (50%)	301世帯 (22%)	202世帯 (14%)	12世帯 (1%)

② 所有する農地で、現在も、将来も耕作する予定のない農地面積 (回答世帯数:1682)

耕作放棄地はない	10a未満	10a~50a未満	50a~1ha未満	1ha以上
509世帯 (30%)	402世帯 (24%)	677世帯 (40%)	78世帯 (5%)	16世帯 (1%)

③ 耕作していない理由 (複数回答) (回答世帯数:1188)

農地の条件が悪い	高齢化・後継者不在	採算が取れない	農地の借り手がいない	鳥獣被害がある	その他
617世帯	553世帯	278世帯	160世帯	117世帯	86世帯

※「その他」に書かれていた理由には、「減反政策のため」や「病気療養中のため」などがありました。

④ 近い将来の農業経営の意向 (回答世帯数:1783)

規模拡大したい	現状維持	規模縮小したい	離農したい	今後も農業をしない	分からない
66世帯 (4%)	809世帯 (45%)	117世帯 (7%)	148世帯 (8%)	339世帯 (19%)	304世帯 (17%)

⑤ 所有する農地のうち、貸したい農地の有無 (回答世帯数:1756)

ある	ない
418世帯 (24%)	1338世帯 (76%)

⑥ 規模拡大のために、農地を借りたいかどうか (回答世帯数:65)

借りたい	借りなくてもよい
52世帯 (80%)	13世帯 (20%)

《 調査結果の活用 》

今後、この農地利用基礎調査事業(現況調査と農業経営意向調査アンケート)の結果を基に、市農水産課と情報の共有を図り、担い手農家や新規就農者への農地の貸借が進むよう様々な事業に取り組み、耕作放棄地の発生防止及び解消を図っていきます。

お近くの農業委員に気軽にご相談ください！

担当地区	委員	担当地区	委員
館山	※ 安西 純夫 (沼)	館野	山岸 喜憲 (国分)
北条	小形 敏夫 (上野原)		◎ 脇田 安保 (稲)
那古・船形	渡邊 彌 (那古)	九重	※ 北見 富夫 (竹原)
	小林 進 (正木)		加藤 悟 (二子)
西岬	西郷 明 (小沼)	農協推薦	井上 栄一 (山本)
神戸・富崎	早川 仁 (布沼)	農業共済推薦	宇山 茂 (神余)
	島田 健兒 (犬石)	土地改良区推薦	網代 哲夫 (広瀬)
豊房・神余	○ 鈴木 紘一 (山萩)	市議会推薦	川名 初江 (江田)
	※ 坂口 熹宏 (神余)	市議会推薦	鈴木 順子 (下真倉)

◎会長 ○職務代理 ※新任 任期：平成29年7月19日まで(3年間)



農地パトロール を実施します！

農業委員会では、耕作放棄地の解消、違反転用の発生防止と早期発見のため、農地パトロール（利用状況調査）を実施します。

9月から11月にかけて、農業委員が各地区を巡回し、場合によっては、皆さんの農地に立ち入ったり、お話を伺うこともありますので、ご理解とご協力をお願いします。

農地の借り手を募集します

今年度から、農業の担い手への農地集積や耕作放棄地の解消を促進するため、「農地中間管理機構」が農地所有者と農業経営者の間に入って、農地の貸し借りをを行う農地中間管理事業が始まりました。

この事業を活用して農地を借りたい人を募集します。

[メリット]

- ① 機構が農地の集積を行うので、まとまった農地を借りられます。
- ② 必要な場合には、条件に応じて機構が簡易な基盤整備を行うので、整った農地を借りられます。
- ③ 機構が仲介を行うので、安心して農地を借りられます。

募集期間 平成26年8月1日～9月5日

詳しくは、市農水産課農政係（☎22-3396）まで

編集後記

農業委員の改選により、編集委員の体制も新しくなりました。私たち3人の編集委員と事務局で、農業者の皆さんの役に立つ紙面づくりをしていきます。

水田では、黄金色の稲穂がたわわに実り、これから稲刈りシーズンが始まります。昔は田植えと稲刈りは家族総出の一大イベントでしたが、今は機械化が進み、少人数でもできるようになりました。作業は楽になりましたが、やはり家族全員でにぎやかにやりたいものです。

編集委員長

島田健兒

加藤 悟

山岸喜憲

※「あぐり人」と「農地と農業のおはなし」は紙面の都合でお休みします。